

令和元年度 事業計画

基本方針

秩父開発機構は、首都圏住民の余暇活動需要の適切な吸引を図り、秩父圏域等の振興に寄与することを目的に設立された第三セクターであります。

令和元年度においては、平成30年度に策定した中期経営計画（令和4年度までの5年間）に基づき、秩父ミュージックパーク及び長瀬射撃場の指定管理業務を事業の柱とし各種事業を展開するとともに、新規事業の検討と既存事業の活性化に努め、経営基盤安定化と営業成績の向上を図ってまいります。

重点項目

1 指定管理業務 秩父ミュージックパーク

埼玉県より平成30年度から新たに5年間の指定管理者の指定を受け、2年目を迎えたところであります。利用者本位の適切な管理運営に努めるとともに、モミジによる新名所づくりに向けた事業の推進、コンサート等の自主事業や大規模イベントの誘致、ホームページとSNSを活用した情報発信を行い、公園と地域活性化に向けた取り組みを図るほか、誰もが快適に利用いただくための利用者サービスの充実を図り、利用者満足度80%以上を目指します。

2 指定管理業務 埼玉県長瀬射撃場

秩父ミュージックパークと同じく平成30年度から5年間、新たに指定管理者として2年目を迎え、設置目的である「射撃技能の向上と銃による事故の防止及び射撃競技の発展」のため、安全安心の管理運営と危機管理の徹底を図るとともに、競技会・合宿等の誘致や技能講習、教習射撃などの自主事業に取り組みます。

3 観光振興事業

秩父地域の行政及び観光関連団体と一体となり観光キャンペーンなどに積極的に参加するほか、テレビ埼玉の情報番組「マチコミ ちちぶだより」の番組放映について、企画や情報提供を行うなど、秩父地域への誘客策に取り組みます。

4 経営基盤安定化に向けた取り組み

秩父ミュージックパークにおいて平成30年度より着手している、モミジによる新名所づくりへの事業展開を推進することで、更なる地域振興と、将来継続して指定管理者として公園事業に従事することを目指します。

また、新規事業の検討と既存事業活性化に向けた見直しも行ってまいります。

主な事業の内容

1 指定管理業務 秩父ミュージックパーク

(1) モミジによる新名所づくりに向けた整備事業

① せせらぎ広場・梅園周辺の整備

既存するモミジやカエデを観光資源として活かすため、樹木医の指導の下、周辺の雑木・高木の剪定・間伐などの周辺環境の整備や、新たな植栽などを前年度に引き続き計画的に実施してまいります。

② 音楽堂・ピエリア周辺の整備

新たに音楽堂正面とピエリア周辺に植栽したモミジの適切な育成管理とともに、引き続き環境整備と植栽を計画してまいります。

また、紅葉シーズンには夜間のライトアップなどの集客策を実施します。

③ 黄紅葉祭（こうようさい）の実施

10月下旬から11月下旬までの、イチョウ並木の黄葉からモミジ・カエデの紅葉の期間を黄紅葉祭（こうようさい）期間と位置付けて、各種イベント等も計画し、ポスター、チラシ、ホームページなどで広く周知してまいります。

今後においては、公園内の整備状況を踏まえ、売店の出店など、黄紅葉祭（こうようさい）のスケールを段階的にアップさせていくことを目指します。

(2) 誰でも快適に利用できるサービスの提供

① コンシェルジュとしてのご案内サービス

従業員全員がコンシェルジュとして、「公園便利帳」等を使いながら、わかりやすく公園をご案内します。また、「秩父路観光ガイドマップ」等を使って、公園だけでなく周辺の施設や地域の観光情報等もご案内します。

② ユニバーサルサービスの充実

管理事務所に、言葉の不自由な方等のための「コミュニケーションボード」等のツールを常設し、お客様との対話が図りやすい仕組みをつくります。また管理事務所には車いすを用意し、希望される方に無料で貸し出します。

③ インバウンド対応

秩父エリア全体の観光PRの促進により、近年は本公園にも外国人観光客の来園が増加しております。そのインバウンド対応として、日本語・英語表記のみである看板や掲示物の見直しや、翻訳機能を搭載したタブレット型端末を管理事務所に配置し活用いたします。

④ バリアフリー対応

駐車場から隣接しているトイレまでの路面に段差が見受けられるため、調査を実施し優先的に修繕を行います。

(3) 市民活動の機会充実

① カタクリの里とホテルの里の保全活動

公募によるボランティア参加者や市民団体と連携し、公園インストラクターの

指導のもと、カタクリの植え付け活動や、ホタルの生息域の整備など地域と一体となった環境保全事業を実施します。

② チューリップ1万本プロジェクト

芝桜の観光客で賑わう4月下旬に合わせ、1万本のチューリップ畑を創出することで、秩父ミュージックパークへの誘客を図ります。球根植え付けには地元の幼稚園と連携し、地域と一体となった事業展開を図ります。

③ ボランティア・CSR活動の活用

秩父地域の教育機関などのボランティア活動や西武鉄道のCSR活動の誘致、受け入れを積極的に実施し、ヘメロカリス園、サルスベリ園などにおける除草作業やスカイロードなどのごみ拾いなど、県民との協同活動の機会を拡充いたします。

(4) 幅広い情報発信

① オリジナルホームページによる情報発信

見どころ案内・イベント情報・花の開花情報等タイムリーな情報を写真付きで掲載し、公園に来園したことのない人にもわかりやすく公園の魅力を伝えます。また、西武造園が管理運営する全国の公園や、協力企業が運営するホームページと相互リンクし、アクセス数を増加させます。

② 公園パンフレット、イベントチラシ等による情報発信

「園内のガイドマップ」、「公園インストラクター年間事業」、「音楽堂・野外ステージを利用した自主コンサート」、「梅祭りなどのイベント等」の、ポスター・チラシを作成し、幅広く配布します。また、西武グループのネットワークを生かして西武線・祭の湯等の西武グループ関係施設に掲示します。

③ 教育機関等と連携したチラシの配布、利用促進

秩父市や小鹿野町、埼玉県内の幼稚園・小学校等の教育機関や、図書館・児童館等の近隣の公共施設へのチラシ配布を重点的に行い、遠足や園外活動等で公園を活用していただけるように誘致活動に努めます。

④ SNSを活用した「秩父ミュージックパーク特派員」制度の実施

SNS (facebook、instagram 等)のツールを活用し、若い世代や女性の利用促進を強化するための「秩父ミュージックパーク特派員」制度の実施に取り組みます。

⑤ 秩父ミュージックパーク連絡会議の運営

本公園だけでなく、埼玉県や近隣施設 (PICA 秩父、フォレストアドベンチャー等)、秩父市・小鹿野町と連携した広報・PR活動を展開するため、ミュージックパーク管理事務所が事務局となっている「秩父ミュージックパーク連絡協議会」での連携体制づくりを継続実施します。

⑥ 新たなエリアへのPR活動

イチヨウ並木の黄葉やモミジの紅葉といった公園のみどころとなる景観をアピールできるイメージポスターを作成し、神奈川県方面 (秩父～横浜間をつなぐ直通電車の運行) や茨城県・千葉県方面 (圏央道の開通) へ掲示依頼し、新たなエリアにPRを行い、さらなる認知度向上と利用促進に努めます。

(5) 自主事業の実施

① 音楽堂・野外ステージ等を使った自主事業の実施

施設の利活用と公園の活性化を図るため、音楽堂及び野外ステージにおいてのコンサートやスカイロードを利用した駅伝大会など、集客事業を実施します。

- ・ R 1. 8/ 4(日) ミューズロックコンサート 2019 (野外ステージ)
- ・ 9/ 1(日) 第3回秩父フラフェスティバル (野外ステージ)
- ・ 11/10(日) 吹奏楽フェスティバル (音楽堂)
- ・ 11/17(日) 秩父ミューズパークコンサート
世良公則アコースティックライブ (音楽堂)
- ・ 12/15(日) サッカー少年団駅伝大会 (スカイロード)
- ・ R 2. 2/23(日) コーラスフェスティバル (音楽堂)
- ・ 3/ 1(日) アマチュアフォークコンサート (音楽堂)

② 公園インストラクター事業

本公園では動植物の専門的知識に精通したボランティアによる「公園インストラクター」制度を実施しており、様々な分野で活躍する26名が登録しています。

季節に応じた公園の豊かな自然や魅力をPRする体験プログラムを年17回実施します。

- ・ R 1. 4/27(土) 春の星座観察会
- ・ 5/12(日) ノルディックウォーキング
- ・ 6/ 2(日) 初夏の山野草観察会
- ・ 6/29(土) ホタル観賞の夕べ
- ・ 7/27(土) 夜の昆虫探検隊
- ・ 8/ 3(土) 子ども昆虫探検隊
- ・ 8/10(土) キットを使って星を学ぼう
- ・ 8/10(土) 夏の星座観察会
- ・ 9/28(土) きのこと観察会
- ・ 10/ 6(日) 秋の山野草観察会
- ・ 10/ (土)- (日) 海を渡るチョウアサギマダラ観察会
- ・ 10/27(日) ノルディックウォーキング
- ・ 11/16(土) 秋の星座観察会
- ・ 12/14(土) ミニ門松を作ってみよう
- ・ R 2. 2/ 2(日) バードウォッチング
- ・ 3/22(日) 早春の生き物観察会
- ・ 3/29(日) 早春の妖精カタクリの観察会

③ 園地を使った自主事業

公園内の梅園やイチヨウ並木の黄葉、モミジ・カエデの紅葉などの魅力を広く周知させ、来園者の増加を図るため、園地を使ったイベントを開催します。

また実施にあたっては、市民団体と連携を図り、「そば打ち実演」や「野点」などといった催しを行い、地域の季節のイベントとして定着を目指します。

- ・ R 1. 10 下旬～11 下旬 「黄紅葉祭 (こうようさい)」
- ・ R 1. 3 月上旬 「梅まつり」

④ 軽飲食店「ピエリア」の運営

公園内の他社レジャー施設と連携した「手ぶらでバーベキュー」のセット販売や、季節限定メニューの導入のほか、ハーレー秩父ミーティング、秩父はんじょう博、ロックコンサート等、大規模イベント開催時には臨時売店を出店し売上及び利用者サービスの向上に努めます。

⑤ 大規模イベント誘致

公園内の野外ステージ、音楽堂、テニスコート、スカイロードなどの園内全般の利用促進に向け、恒例となっている「ハーレー秩父ミーティング」、アイドルグループ「私立恵比寿中学」野外コンサートなどの大規模イベントや、テニス大会、ロードレース大会などの誘致を行うなど、来園者の増加と公園の活性化を図るとともに、行為許可収入の増加を目指します。

- ・ R 1. 4/13(土)-14(日) ハーレーダビッドソン秩父ミーティング
- ・ 4/ 6(土)- 7(日) 全国選抜小学校ソフトテニス大会 (ルーセント杯)
- ・ 4/14(日) 豊島区秩父市親善テニス対抗戦
- ・ 6/ 9(日) 第61回秩父宮記念ミューズの森チャレンジロードレース大会
- ・ 7/ 6(日) JA 共済アンパンマン交通安全キャラバン (野外ステージ)
- ・ 8/17(土) 私立恵比寿中学コンサート (野外ステージ)
- ・ 10/13(日)-14(月祝日) 埼玉県クラブリーグ大会 (テニス大会)
- ・ 10/10(木) 幼年消防クラブ秩父地区大会 (野外ステージ)
- ・ 10/19(土)-20(日) 秩父はんじょう博 (野外ステージ及び周辺)
- ・ 10/ 23(水) 埼玉県駅伝大会予選会兼秩父郡市中学校駅伝競走大会
- ・ 11/15(金)-16(土) 埼玉県私立高等学校テニス大会
- ・ 11/26(火) 秩父農工科学高校校内マラソン大会
- ・ 12/15(日) 水上朋香コンサート

2 指定管理業務 埼玉県長瀬射撃場

(1) 安全・安心の確保

① 銃及び装弾による事故未然防止に向けた取り組み

職員及び利用者など射撃場に携わる人々の安全と危機管理意識の向上を図るため注意喚起の徹底を図り、安心して利用できる施設とするための場内整備と施設管理に努めます。

- ・ 技能講習における銃の安全操作の徹底及び射手の技能向上促進
- ・ 場内巡回及び監視モニターによる安全確認
- ・ 射撃場内における取扱注意事項掲示
- ・ 受付窓口等における利用者への注意呼びかけ
- ・ 利用者への注意喚起書類の配布
- ・ 標的(電子標的)及び附属する設備、照明器具等の適切なメンテナンス

(2) 射撃大会及び合宿等の誘致

① 射撃大会等の開催

各ライフル射撃協会、猟友会、大学、高校、更に銃砲火薬店へ大会・練習会等の誘致活動を行い、利用率と業績向上を図るとともに、長瀬町内及び近隣地区の宿泊施設、商店、飲食店等の顧客増加など、地域貢献を果たします。

令和元年度においては次の大会・競技会・合宿等の利用が計画されています。

・ R 1.	4/ 6- 7	全日本マスターズ大口径選手権大会	60 人
・	4/ 7	埼玉県ライフル射撃協会支部対抗戦	50 人
・	4/13-14	全日本選抜ライフル射撃競技大会 (50m)	100 人
・	4/14	東京都ライフル射撃協会大口径選手権大会	35 人
・	4/28	埼玉県ライフル射撃協会前期普及大会	50 人
・	5/ 5	東京都ライフル射撃協会都民大会団体戦	90 人
・	5/ 9-12	東日本学生スポーツ射撃選手権大会	400 人
・	5/11	千葉県ライフル射撃協会 (300m)	30 人
・	5/18-19	全国春季ピストル射撃競技大会 (50m, 10m)	100 人
・	5/26	東京都ライフル射撃協会国体予選	60 人
・	6/ 2	埼玉県ライフル射撃協会国体予選	60 人
・	6/ 7- 9	関東高等学校ライフル射撃競技大会	200 人
・	6/ 9	埼玉県ライフル射撃協会 (300m)	30 人
・	6/13-16	関東学生スポーツ射撃選手権春季大会	400 人
・	6/22-23	全日本マスターズライフル射撃選手権 (300m)	40 人
・	6/23	埼玉県ライフル射撃協会夏季普及大会	40 人
・	6/28-30	東日本ライフル射撃競技選手権大会	250 人
・	7/ 5- 7	日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	100 人
・	7/ 7	埼玉県猟友会大口径大会	30 人
・	7/14	東京都ライフル射撃協会夏季普及大会	60 人
・	7/14	静岡県ライフル射撃協会 (300m)	30 人
・	7/20-21	第 45 回全日本ライフル選手権 (300m)	40 人
・	7/27-28	全国夏季ピストル射撃競技大会 (50m, 10m)	100 人
・	7/28	秩父猟友会大口径大会	50 人
・	8/ 4	東京都ライフル射撃協会夏季大口径大会	30 人
・	8/17	埼玉県猟友会大口径大会	30 人
・	8/18	埼玉県ライフル射撃協会大口径大会	30 人
・	8/18-20	関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会予選会	200 人
・	8/23-25	第 74 回国体関東ブロック兼全関東選手権大会	290 人
・	9/ 6- 9	JOC ジュニアオリンピックカップ	290 人
・	9/ 7	千葉県ライフル射撃協会 (300m)	30 人
・	9/12-15	関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会	400 人
・	9/15	東京都ライフル射撃協会大口径選手権大会	30 人
・	9/21-22	東京都ライフル射撃協会秋季大会	120 人
・	9/21	埼玉県猟友会大口径大会	30 人

・	10/ 5- 6	日本マスターズライフル射撃連合 (300m)	50 人
・	10/ 6	埼玉県ライフル射撃協会後期普及大会	40 人
・	10/ 8	東西六大学戦	100 人
・	10/ 9-13	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	700 人
・	10/12-13	全国クラブ対抗戦(300m)	30 人
・	10/14	オールミッション戦 (学生大会)	100 人
・	10/20	埼玉県ライフル射撃協会県民総合大会	40 人
・	10/25-27	関東学生スポーツ射撃新人大会	350 人
・	11/10-11	日本マスターズライフル射撃連合 (300m)	40 人
・	11/17	東京都ライフル射撃協会東京都選手権	60 人
・	11/22-24	関東高等学校ライフル射撃競技大会	200 人
・	11/24	埼玉県ライフル射撃協会選手権 (300m)	40 人
・	12/ 1	埼玉県ライフル射撃協会選手権 (50m, 10m)	40 人
・	12/ 8	栃木県ライフル射撃協会 (300m)	30 人
・	12/ 2- 3	全国秋季ピストル射撃競技大会 (50m, 10m)	90 人
・	R 2. 1/12	東京都ライフル射撃協会冬季大口径大会	30 人
・	1/26	東京都ライフル射撃協会冬季普及大会	60 人
・	2/ 8- 9	全国冬季ピストル射撃競技大会 (50m, 10m)	90 人
・	2/16	埼玉県ライフル協会春期大会	40 人
・	3/ 7	千葉県ライフル射撃協会 (300m)	30 人
・	3/15	東京都ライフル射撃協会大口径普及大会	30 人
・	3/22	埼玉県ライフル射撃協会大口径大会	50 人

② 主な射撃団体利用予定

・	日本ライフル射撃協会	年間利用 29 日
・	日本学生ライフル射撃連盟	年間利用 22 日
・	埼玉県ライフル射撃協会	年間利用 12 日
・	東京都ライフル射撃協会	年間利用 12 日
・	日本マスターズ射撃連合他	年間利用 8 日

③ 強化指定選手の練習予定

・	強化指定選手の練習、合宿計画	61 日 延べ約 572 人
---	----------------	----------------

④ 学生合宿利用予定

・	15 大学(早稲田、慶応義塾、明治、立教、法政、中央、東洋、日本、他)	合宿学生数 延べ約 1,500 人 (長瀬町内及び近隣の旅館、民宿利用)
---	-------------------------------------	--------------------------------------

(3) ナショナルトレーニングセンター (NTC) 競技別強化拠点施設活用事業

① トップアスリートが施設を利用するための環境整備

強化選手が施設を利用する際に、配置するマネジメントスタッフにより以下のサポート事業を実施し、技術向上のための環境整備を行います。

- ・ 合宿、自主練習の間のフィジカルトレーニングのサポート
- ・ 合宿時の管理栄養士による栄養サポート
- ・ 強化選手の射撃姿勢などの映像分析

- ・ 銃と弾とのマッチングテスト
 - ・ 全日本選手権やナショナルチーム選考会などの大会準備及び運営サポート
- ② 関係機関との連絡調整
- 日本ライフル射撃協会、地元旅館組合などとの連携により、円滑な施設利用を図るほか、JOCのミーティングなどに参加し、他の施設の情報収集に努めます。
- ・ 日本ライフル協会との練習、研修等の施設利用の調整
 - ・ 地元旅館組合との連携による、学生などの長期合宿の円滑な実施サポート
 - ・ JOC主催のNTCセミナーに参加し、他の施設の活用事例等の収集
- (4) 自主事業の実施
- ① 教習射撃及び技能講習の実施
- 安全意識の徹底と、技術向上を図るため、教習射撃指導員による大口徑及び小口径ライフルの教習射撃を月2回、また、埼玉県、群馬県、栃木県の各公安委員会から委託を受け、技能講習を定期的実施します。
- ② 銃保管業
- 大会・合宿等で数日間地元の宿泊施設へ滞在する利用者の利便性向上と安全対策として、万全なセキュリティー機能を装備している射撃場の保管室に利用者の銃を一時的に預かる銃保管業を継続実施いたします。
- ③ ビームライフル教室・エアライフル、小口径ライフル初心者講習会
- 射撃人口の底辺の拡大、リピーターの確保、競技者への技術指導やモラルの周知のため、所持許可を必要としないビームライフル教室と、エアライフル、小口径ライフルを取得したばかりの初心者を対象とした講習会を毎月各2回定期的に実施します。
- ④ 合宿記録対抗戦の実施
- 夏休みの大学・高校の合宿の最終日には大会形式の記録会が行われ、その記録会の成績を「合宿記録対抗戦」として各学校で競っていただくものです。
- 当射場に愛着を持っていただき末永くご利用いただけるよう、学生の皆様とコミュニケーションを図る狙いもあり、スポーツドリンクなどの参加賞を贈呈します。
- ⑤ 安全狩猟射撃大会の実施
- 県内の猟友会員を対象として、射撃技術とマナーの向上を目的に、埼玉県猟友会・秩父猟友会・秩父警察生活安全課の協力を得て、講話と実技による安全狩猟射撃大会を実施します。
- ⑥ 長瀬周辺マップの作成
- 射撃場周辺の宿泊施設や地元商店等の協力を得て「長瀬周辺マップ」を作成し、一般、学生、銃砲店など約100団体に配布して利用者の利便の向上に取り組むとともに地域の振興に寄与いたします。
- ⑦ SNSを活用した情報発信
- 「伝える努力」の一つの方策として、SNSの拡散力を活用し、大会の予定や結果、日々のスタッフの業務内容、射撃団体の活動状況、地域の観光情報など、様々な情報発信を行ってまいります。施設としての魅力アップと射撃業界発展への協力などにおいても、多様な効果が期待できるものと考えます。

3 観光振興事業

(1) 秩父地域活性化への取組

① 「マチコミ ちちぶだより」の情報番組連絡協議会

テレビ埼玉の首都圏トライアングル枠で放映している情報ネットワーク番組「マチコミ ちちぶだより」の情報番組連絡協議会の事務局として、企画、情報提供等を行います。(年8回 金曜日16:30~約8分間放映)

② 観光キャンペーン等の誘客活動

県市町、秩父観光協会、彩の国秩父地域観光協議会などの関係団体と一体となって観光キャンペーン等PR活動を積極的に行います。

③ 地域振興活動への参画

次に掲げる秩父地域の振興を目的とする団体及び委員会

等の構成員として、事業の実施運営に係る会議や催しなど、地域作りに向けた取組に幅広く参画いたします。

- ・ (一社)秩父観光協会
- ・ 彩の国秩父地域観光協議会
- ・ 県道秩父多摩甲斐国立公園三峰線等渋滞対策検討会議
- ・ 秩父宮記念ミュージズの森チャレンジロードレース大会実行委員会
- ・ 秩父芸術祭実行委員会
- ・ 秩父観光文化施設連絡協議会
- ・ 秩父市芝桜まつり実行委員会
- ・ 彩の国ふれあい牧場連絡協議会
- ・ ポピーまつり実行委員会
- ・ 秩父元気アップ戦略会議
- ・ 秩父ってんべえウォーキング2Days 実行委員会

4 経営基盤安定化に向けた取り組み

(1) 秩父ミュージズパークの新名所づくりに向けた事業の推進

既存するモミジやカエデの周辺整備と公園内の数か所にポイントを絞り段階的に植栽することにより、既に見どころとして定着している500本のイチョウ並木の「黄葉」に続く鮮やかな「紅葉」の景観を整備し、春の羊山の「芝桜まつり」のように、秩父地域に多くの人々が長期間集まる秋の新たな観光スポットを創出することで、地域の活性化に寄与するとともに、自主事業収入の増加を図り、5年先、10年先の秩父ミュージズパーク指定管理業務受託継続による経営基盤安定化を図る施策として長期的視点に立った事業を推進します。

今期については、2ページの冒頭で記載する項目について重点的に整備を進め、以降においては、モミジの植栽・生育状況、周辺の環境整備等を踏まえ、遊歩道や

ライトアップ照明などの設備関連の充実と、黄紅葉祭（こうようさい）のスケールを段階的にアップさせていくことを目指します。

（２）新規事業の検討、既存事業の見直し

月２回実施している経営戦略会議等で、新規事業に向けた検討を行うほか、既存事業を見直すことにより、事業の効率化を図るなどの経費削減に努めるなど、シンプルかつスモールなアイデアであっても積み重ねていくことで、収益増加へと繋げていく努力をしております。

また、検討中であった「県道秩父多摩甲斐国立公園三峰線」の渋滞対策への取り組みについては、渋滞解決策が整うまで「気守り」頒布が休止のため中断していますが、関係機関と連携を図りながら引き続き当社新規事業への可能性についても考察をしております。